

令和5年度 授業改善に関するカリキュラム・マネジメントリーダー研修  
授業実践研究詳細報告書

学校名	府立枚岡樟風高等学校	名前	
-----	------------	----	--

1 学校教育目標（めざす生徒像）

- ア. 他者と考えを共有して共に解決できる生徒
- イ. Just try ! 挑戦し続ける生徒
- ウ. 発見! いま、やることを全力で楽しめる生徒  
教職員と生徒との思いがつながり、卒業時に「枚岡樟風で新しい自分に出会えた!」と実感でき、地域社会に貢献できる生徒になってほしいと考える

2 令和5年度の校内研究テーマ等

(1) 研究テーマ及び設定理由

①研究テーマ

- 「脱! 定期考査のための授業」と「日常的な学習の取組みを重視した評価方法」
- ・生徒のニーズに合う個別最適な学びの場であることを学校全体で再認識し理解を深める
  - ・毎日「誉めてもらえる」「自信がつく」「やりがいを見つけられる」授業・評価を心がけ、生徒を学校生活に引き寄せる

②テーマ設定理由

本校生徒が持つ課題を再認識し、実情に合わせた授業づくり（日常的な学習の取組みを評価する方法）にシフトしていく必要があるため

(2) 成果指標及び目標値

- ・今年度の授業見学回数の比較（8月と1月）  
目標値：授業見学1～4回の割合が20%以上向上することをめざす（8月 34.6%）
- ・学校教育自己診断（教職員用）質問項目「他の先生の授業の見学や授業力向上のための研修の機会がある」における肯定意見数値の比較（R4とR5）  
目標値：肯定意見数値80%以上をめざす（R4 74.1%）

(3) 「(2) 成果指標及び目標値」の達成状況

- ・今年度の授業見学回数の比較（8月と1月）においては、1月時点の授業見学回数（1～4回）の割合が63%であり、当初の目標を達成した。
- ・学校教育自己診断（教職員用）質問項目「他の先生の授業の見学や授業力向上のための研修の機会がある」における肯定意見数値の比較（R4とR5）においては、R5の肯定意見数値が92.7%であり、当初の目標を達成した。

### 3 令和5年度の校内研究の取組みについて

#### (1) 研究の基本的な考え方・全教職員で共通理解したこと（明確化した今年度のポイント）

他教科の取組みを知り自分の授業を見つめなおし授業改善を自分事にする。

#### (2) 具体的な取組み

①校内組織（以後、学校力向上PTと表記）を活性化→教職員が校内研修・授業改善に、より前向きになれる雰囲気づくり

- ・任意へのこだわり！

PTメンバーは10年経験者研修対象の先生や初任者の先生を中心に任意で構成されたものであり、現在14名で構成されている。PTメンバーのなかでも「やってみよう」が溢れる教職員が中心となり動くことにより、「楽しそう」を原動力とし「やら

されている」ではなく、「自らやっている」感へと繋がることを期待した。

- ・すぐ実践！

近隣中学校・他校・自校での取組みでできそうなことはすぐに実践。中学校でのグループワーク日常化を本校でも実践した。

- ・できることからはじめよう！を意識する

PTから教職員全体に波及する際には、先進的な内容だけにとどまらず、どの教職員も取り組みやすい事例を共有することも意識した。

- ・大切なことは日々アップデートをしようとする意識

自身の授業スタイルが本校の生徒の実情と合っているかを常に自問自答することから始めませんか？と提案した。

②R5 1年必修科目「生物基礎」で定期考査廃止→定期テストが最善の評価方法であるという価値観をどのように変えていくか

- ・小テストだからこそ頑張れる！

知識・技能を確認するための小テストは、単元の最重要語句のみで作成し、平均点75点～80点を想定した。100点満点の生徒がたくさん居ることが、生徒の自己肯定感向上にも繋がると考えた。一方で小テストができなくても大丈夫！安心した環境の中のびのび授業に参加できるように工夫した。

- ・もっと頑張りたい！を引き出すプラスα課題で向上心（やる気）UP！

前向きな生徒はプラスα課題への取組みを促し、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の加点とした。

## 4 取組みの検証

### (1) 校内研究の成果

①学校力向上P Tからの働きかけで、校内研修が活性化

- ・定期的なP T主催の校内研修は職員会議のあと  
短時間で行うことにより、高い参加率となった（写真1）



(写真1)

②R5 1年必修科目「生物基礎」で定期考査を廃止したことにより多くのメリット発見  
教職員側メリット

- ・定期考査作成にかかわる時間（作成・印刷・採点）の削減
- ・教職員の個性を生かすことができる
- ・定期考査では測れない生徒の資質・能力を評価することができる
- ・教職員側の評価規準を定期考査よりも具体的に生徒へ伝えられる

生徒側メリット（生徒の声より）

- ・「グループワークが楽しい」（写真2）
- ・「評価がわかりやすい」
- ・「頑張ったら頑張った分だけ評価してもらえる」
- ・「生物に興味・関心がでた」
- ・「休まずに授業を受けたいと思う」



(写真2)

**(2) 生徒の変容（授業改善により生徒にどのような態度が表れたか）**

今年度1年必修科目「生物基礎」で定期考査を廃止したことによる

- ・日々生徒が良い意味で落ち着き授業に集中して取り組めるようになった。
- ・毎回の授業でどのような授業形態（グループワークか、ペアワークかなど）で学ぶのか心待ちにしている姿も見られる。
- ・プラスα課題を提出する生徒も増え、中には自信に満ち溢れた表情を見せる生徒もいた。

**(3) 教職員の変容（授業改善により教職員が何を学んだか・どのような感想を持ったか）**

学校力向上PT活性化を実践の結果

- ・PT実践報告会のなかで「それ面白い!」「もっと知りたい!」「ぜひ職員研修で紹介しよう!」など前向きな発言がみられた。
- ・1月5日実施のPT主催の職員研修では、PT以外のメンバーを含むさまざまな教科の教員（計10名）による事例発表を行えたことで、「たくさんの先生方の取り組みを聞いてよかった」「先生方の授業改善の取り組みが知れてとても参考になった」「他の先生方の評価方法を知ることができたのはとても有意義な時間だった」という感想を得た。

**5 今後に向けて**

**(1) 今年度明らかになった課題**

昨年に引き続き授業改善のための校内研修を複数回実施できているため、「授業改善し続けることの重要性」を強調できていると感じる。しかしながら、まだ、多くの教職員にとって授業改善を自分事として捉えきれていない現状もある。

**(2) 次年度に向けて**

次年度は学校力向上PTが発足し3年めとなる。PTメンバーと、その他教職員間に乖離が生じる時期と考える。より前向きに授業改善に取り組んでいける雰囲気づくりのため、めざす生徒像を意識した授業だけにとどまらず生徒指導の側面などを含めた学校全体の状況について常に教職員間で確かめあう機会を増やしていきたい。

学校名	府立枚岡樟風高等学校	名前	
-----	------------	----	--

## 令和5年度 授業実践研究報告書

### 1 令和5年度の目標(テーマ・主題)

「脱！定期考査のための授業」と「日常的な学習の取組みを重視した評価方法」

- ・生徒のニーズに合う個別最適な学びの場であることを学校全体で再認識し理解を深める。
- ・毎日「誉めてもらえる」「自信がつく」「やりがいを見つけられる」授業・評価を心がけ、生徒を学校生活に引き寄せる。

### 2 成果指標及び目標値

- ・今年度の授業見学回数比較（8月と1月）  
目標値：授業見学1～4回の割合が20%以上向上することをめざす（8月34.6%）
- ・学校教育自己診断（教職員用）質問項目「他の先生の授業の見学や授業力向上のための研修の機会がある」における肯定意見数値の比較（R4とR5）  
目標値：肯定意見数値80%以上をめざす（R4 74.1%）

### 3 「2 成果指標及び目標値」の達成状況

- ・今年度の授業見学回数比較（8月と1月）においては、1月時点の授業見学回数（1～4回）の割合が63%であり、当初の目標を達成した
- ・学校教育自己診断（教職員用）質問項目「他の先生の授業の見学や授業力向上のための研修の機会がある」における肯定意見数値の比較（R4とR5）においては、R5の肯定意見数値が92.7%であり、当初の目標を達成した。

### 4 実施日・内容等

月	日	校内研究の実際	
		研究推進委員会 等	教職員全体研修会 等
4			・職員会議において令和5年度校内教職員研修チーム（学校力向上PTと表記）メンバー募集
5	23	・第1回学校力向上PT会議 （内容：今年度の目標共有）	
	25		・第1回1人1台端末研修

			(内容：Googleドライブの具体的な活用法)
6	14 16	・近隣中学校への授業見学 ・学校力向上PTメンバーによる相互授業見学開始（同じクラスを継続して見学）	
7	24  28	・第2回学校力向上PT会議 (内容：めざす生徒像の確認、授業見学会を経て意見交換、各教科の取組み報告)	・第1回学校力向上PT職員研修 (内容：めざす生徒像確認、近隣中学校授業見学、相互授業見学の取組み、新カリ授業実践と学習評価について報告)
8	1  30	・第3回学校力向上PT会議 (内容：授業見学の仕方について)	・第2回1人1台端末研修 (内容：Googleフォームの具体的な活用法)
9	19 20  22		・研究授業「工業」 ・第2回学校力向上PT職員研修 (内容：樟風まなびマップ（仮称）の原案提示) ・研究授業「英語」
10 ～ 11			・学校全体の授業見学月間
11	16 17  21 27 28		・研究授業「情報」 ・研究授業「地理歴史」 ・研究授業「英語」 ・研究授業「保健体育」 ・研究授業「理科」 ・研究授業「数学」
12	12	・第4回学校力向上PT会議 (内容：研究授業まとめ)	
1	5		・第3回学校力向上PT職員研修

	9		<p>(内容：研究授業まとめ、「主体的態度」評価にかかわる実践報告)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・第3回1人1台端末研修</li></ul> <p>(内容：Google Meetの具体的な活用法、Kahoot!などの教育用ゲーム、Mentimeterなどの回答共有サービスの活用事例紹介)</p>
--	---	--	---